

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年2月25日(2016.2.25)

【公開番号】特開2015-80019(P2015-80019A)

【公開日】平成27年4月23日(2015.4.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-027

【出願番号】特願2013-214600(P2013-214600)

【国際特許分類】

H 04 N 1/41 (2006.01)

H 04 N 1/407 (2006.01)

G 06 T 5/00 (2006.01)

H 04 N 19/00 (2014.01)

【F I】

H 04 N 1/41 Z

H 04 N 1/40 1 0 1 E

G 06 T 5/00 1 0 0

H 04 N 7/13 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月7日(2016.1.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

圧縮処理された画像信号についての伸張処理を行う伸張処理部と、
前記伸張処理を経た前記画像信号について、輝度階調に対して補正量が一定でない補正
処理である階調依存補正処理を行う階調依存補正処理部と
を備えると共に、
前記伸張処理を経て前記階調依存補正処理が施される前の前記画像信号を対象として、
入力輝度値を当該入力輝度値に応じて選択的にオフセットさせる圧縮誤差補正処理を施す
圧縮誤差補正処理部を備える
画像処理装置。

【請求項2】

前記階調依存補正処理部は、
前記階調依存補正処理としてガンマ補正処理を実行し、
前記圧縮誤差補正処理部は、
前記圧縮誤差補正処理として、前記画像信号における黒画素及び白画素の輝度値を中間
階調側にシフトさせるようにオフセットさせる処理を実行する
請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記画像信号に基づく画像表示として動画像の表示が行われるか静止画像の表示が行わ
れるかについての判定を行い、静止画像の表示が行われる場合には前記圧縮誤差補正処理
が実行されないように制御を行う制御部を備える

請求項2に記載の画像処理装置。

【請求項4】

前記圧縮誤差補正処理部は、

前記圧縮誤差補正処理として、前記黒画素については、前記黒画素の輝度値と前記黒画素の近傍の所定範囲内に位置する画素のうち輝度値が最大の画素の輝度値との差分値に応じた値により輝度値をオフセットさせ、

前記白画素については、前記白画素の輝度値と前記白画素の近傍の所定範囲内に位置する画素のうち輝度値が最小の画素の輝度値との差分値に応じた値により輝度値をオフセットさせる処理を行う

請求項2又は請求項3に記載の画像処理装置。

【請求項5】

前記圧縮誤差補正処理においては、

前記白画素についての輝度値のオフセット量よりも前記黒画素についての輝度値のオフセット量の方が大きく設定されている

請求項2乃至請求項4の何れかに記載の画像処理装置。

【請求項6】

圧縮処理された画像信号についての伸張処理を行う伸張処理ステップと、

前記伸張処理を経た前記画像信号について、輝度階調に対して補正量が一定でない補正処理である階調依存補正処理を行う階調依存補正処理ステップと

を有すると共に、

前記伸張処理を経て前記階調依存補正処理が施される前の前記画像信号を対象として、入力輝度値を当該入力輝度値に応じて選択的にオフセットさせる圧縮誤差補正処理を施す圧縮誤差補正処理ステップを有する

画像処理方法。